



みつみね

学校 家庭 地域

沼田市立薄根小学校 学校便り
令和元年度 第17号
令和2年2月15日発行
<http://www.numata-es.ed.jp/usune-e/>

薄根中学校、薄根幼稚園との連携を通して



もうすぐ子どもたちは慣れ親しんだ環境から離れ、新しい生活をするようになります。大人でさえ、そういう状況になったとき大きなストレスを感じ、なかなか適応できないときがあります。そのような状態を作らないために、薄根の幼・小・中では、様々な連携をしています。この写真は、5年生と幼稚園の子どもたちが交流する活動です。来年度6年生になる児童が、幼稚園生と手作りしたおもちゃを遊ぶことで、安心感を持って小学校に来て欲しいからです。また6年生は、最上級生として、優しく迎え入れる気持ちを持ってもらいたいからです。このほかにも、中学校の先生が、小学生に勉強を教えに来てくれたり、部活動の見学に行ったり、ゆっくりゆっくりと慣れて、気持ちが環境に適応するようにしています。これらの取り組みを通して薄根地区全体で子どもたちが不安を抱えず伸びやかに次のステップに進めるといいです。それが、子どもたちの確かな成長につながるのではないかと考えています。

【薄根幼小中PTAスローガン】

『子どもは地域の宝物 ほめて叱って励まして みんなで育てる薄根っ子』 薄根幼小中PTA連絡協議会

動物ふれあい教室(1年)



2月5日(水)に、獣医さんの高橋先生をお迎えして「動物ふれあい教室」を実施しました。薄根小では「チョコちゃん」といううさぎを飼っています。子どもたちは、直接動物に触れる機会があまり多くありません。高橋先生は、動物のことをお話した後、一人一人にチョコちゃんを抱っこさせてくれました。初めてで戸惑いのある子もいましたが、みんな興味津々でした。また、チョコちゃんの心音も聞かせてくれて、すべての生き物の命の大切さを考えるよい機会になりました。



チョコちゃん引継式(1・2年)



チョコちゃんの世話は、2年生が行ってい

ます。来年は、現1年生が、チョコちゃん係です。その引継式がありました。2年生が1年生に「よろしくお願ひします」と引継をした後、世話の仕方を1年生に丁寧に教えていました。「動物ふれあい教室」で生き物の命の大切さを感じた1年生が、来年度、心を込めてチョコちゃんをかわいがってくれることでしょう。



点字教室(4年)



1月31日(金)に、社会福祉協議会の人たちをお招きして「点字教室」を行いました。点字の説明を受けてから、子どもたちは、実際に点字を書きました。ひとマスは小さく、その6つの場所に点を打つことで、言葉にしていま



す。分からないところを丁寧に教えてもらいながら、一生懸命取り組んでいました。

世の中には様々な障害を持つ人がいて、その人を支える人がいます。全ての人が「幸せ」になるために、みんなで支え合っていることを、子どもたちが感じてくれたら嬉しいです。